

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	瓦の音楽プロジェクト実行委員会	代表者名	委員長 青木 将幸
事業名	「瓦の音楽 -music of KAWARA-」2014内 インフォメーション施設 “瓦カフェ” オープン事業		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2014年7月	関係者顔合わせ、全体事業計画の確認、企画・検討会議
2014年8月	協働先である地域関係者へのご挨拶とヒアリング。 瓦製の器について既に地域の瓦師さんたちが試みている事が判明。 瓦の素材上、なかなか困難であるとのことご意見を頂く。
2014年9月	協働先である地域関係者へのヒアリング。 引き続き瓦製の器の可能性を探る。同時にいくつかの窯元さんが、コースターや箸置きなど小物を既に開発していることが判明。リサーチを行う。
2014年10月	協働先である地域関係者へのヒアリング。 拠点を整備する候補地探しが難航。事務局内で打ち合わせを持ち、屋内固定のカフェとともに移動キッチン式の形態についても可能性を探る。
2014年11月	・地域内で開催した「瓦の音楽」コンサートに合わせて、キッチン固定型のカフェ営業を試す。合わせてこの機会に拠点場所提供の呼びかけを行う。 ・南あわじ市の地域屋外イベントで移動キッチンを使用したカフェ営業を試す。営業に要する経費や準備期間・営業規模について改善点を含めての実現性の確認。
2014年12月	協働先である地域関係者へのヒアリングおよび渉外活動。 地域内の瓦業者さんから屋外スペースの出店協力の申し出を頂く。 また、拠点施設候補地としての古民家（「琴屋」）が浮上。
2015年1月	協働先である地域関係者へのヒアリングおよび渉外活動。 郷土料理や瓦を使ったメニュー（津井地区で昔から作られている「押し寿司」など）について様々な意見や情報を頂く。古民家「琴屋」を賃借し、掃除と庭草木の伐採作業。
2015年2月	使用する瓦製品の割り出しと打診。地域関係者より郷土料理をレクチャー頂きメニューの開発。 広報として拠点のみならず本事業および津井地区全体の魅力・スポット等をまとめた「まちあるきガイド」型の冊子を製作。 古民家「琴屋」の掃除および整備作業。
2015年3月	インフォメーションカフェ仮オープンへ向けた準備。 協働先である地域関係者への瓦製品提供および購入の渉外活動。 カフェメニュー試作品の作製。 3月29日～5月10日開催のまちあるきプログラム「瓦のおとさんぽ」オープニングに合わせて3月29日にインフォメーションカフェ仮オープン。 事業反省会、報告書作成

## 効果と成果

本事業は、地域文化とアートという現代的視野が融合することで地場産業の新たな価値の提示をめざし、地域の伝統産業関係者、文化施設、教育機関、地域アートNPOが連携し協働するプログラムです。

一年の活動を通じて多くの関係者のご協力のもと、現在補修・整備を進めている古民家「琴屋」でのインフォメーション&カフェ事業の本稼働へ向けた下準備を行いました。瓦でできたカフェという目標には届きませんでした。可能な限りの瓦を使用し、また本来の瓦の使用方法とは別の活用方法としては教えて頂くことの方が多かったといえます。また、「瓦のまちあるき」冊子の製作により、今までとは違うより地域に密着した津井のまちを紹介できたと思います。

今後のインフォメーション&カフェ事業である「琴屋」では地域住民および観光客の皆さんが交流できる施設をめざし、地場産業である瓦の普及への一役を担えるよう引き続き「瓦のまち」をアピールしていきます。

## 収支決算書 (収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	280,000
自己資金	344,201
合 計	624,201

## (支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	材料費	27,527	0
	水道光熱費	4,320	3,000
	備品費	104,006	85,000
	人件費	18,000	18,000
	交通費	64,398	47,000
	消耗品費	10,550	9,500
	会場費	20,000	20,000
	印刷費	217,000	27,500
	小 計	465,801	210,000
	間接経費(一般管理費)	158,400	70,000
	合 計	624,201	280,000